

形成外科に通院中の患者さんへ（臨床研究に関する情報）

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。このような研究は、厚生労働省の「臨床研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 手術不能外陰部乳房外パジェット病患者の治療に関する実情調査

[研究機関] 多設共同研究（責任機関 富山県立中央病院皮膚科）

共同研究機関名（役割） 国立がん研究センター中央病院皮膚腫瘍科（症例集積、統括）、名古屋大学医学部皮膚科(症例集積)、旭川医科大学皮膚科(症例集積)、関西医科大学附属枚方病院皮膚科(症例集積)、熊本大学医学部皮膚科(症例集積)、信州大学医学部皮膚科(症例集積)、県立静岡がんセンター病院皮膚科(症例集積)、東京大学医学部皮膚科(症例集積)、新潟県立がんセンター新潟病院皮膚科(症例集積)、埼玉医科大学皮膚科(症例集積)、福岡大学医学部皮膚科(症例集積)、筑波大学(臨床医学系)皮膚科(症例集積)、鹿児島大学医学部皮膚科(症例集積)、九州大学医学部皮膚科(症例集積)、埼玉医科大学国際医療センター皮膚腫瘍科・皮膚科(症例集積)、北海道大学医学部形成外科(症例集積)

[研究責任者] 古川 洋志 （形成外科・准教授）

[研究の目的] 本研究では様々な理由で手術が不可能な患者に対する治療の現状を調査し、その有効性や有害事象に関するデータを集積することを目的としている。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

2009年4月から2014年3月の間に北海道大学病院形成外科において手術以外の方法で治療された乳房外パジェット病の患者さん。他施設と共同してデータの集積を行います。

●利用するカルテ情報

年齢、性、病巣部位、大きさ、病理組織像、治療法、治療期間、奏功率、有害事象、転帰。

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

[問い合わせ先]

北海道札幌市北14条西5丁目
北海道大学病院形成外科 担当医師 七戸 龍司
電話 011-706-6978 FAX 011-706-7827